



～ 卒業生からのメッセージ ～

⑦ **なんとなく過ごすにはもったいない!**
入澤 裕美子
(2002年 工業技術学科 数理工学コース卒業)
ノックスデータ株式会社勤務(プログラマー)

社会人になって4年、IT企業でプログラマーをしています。新しいプログラム言語を覚えたいとか、自分でもっと勉強しようと思う気持ちは短大時代の学習意欲と同じ。きっとあの頃に養われたのだと感じています。目標を決めて挑戦するなど、自ら積極的にやることで、あとで振り返った時に良かったと思える学生生活になるはずです。

⑧ **良きライバルと。仲良く頑張る**
石井 祐輔
(2003年 基礎工学科 数理工学コース卒業)
目黒区立第八中学校 数学教諭

テスト近くになるとよくクラスの皆とカフェで一緒に勉強しました。周りも編入が目標でいいライバルでしたし、皆が本気で努力する環境だったと思います。私は今、中学時代から憧れていた教師になりましたが、授業でもっと数学の面白さを伝えたり、子どもたちとのコミュニケーションを大切にする理想の教師を目指しています。

⑨ **いろいろ楽しめる船橋キャンパス**
太田 亜希
(1977年 応用化学科卒業)
ユカ インダストリーズ株式会社 取締役

私は、変圧器の絶縁油を分析するなどの、いわば変圧器の健康診断を行う会社を経営しています。短大では、実験などの実技が多く私は合成実験が非常に楽しかったです。また、船橋キャンパスの広大な土地で運動するなど、授業以外の楽しみが多いのも魅力。短大では気軽に化学に接することができます。化学に少しでも興味がある人、おすすめです。

⑩ **大学院で「美白」を研究しています**
金子 悦代
(2005年 応用化学科卒業)
日本大学大学院理工学研究科 物質応用化学専攻前期課程1年

短大は編入を目指して必死に勉強する学生が多いせいか、学部に進んでも遅れることなく研究に取り組みました。改めて努力した甲斐があったと感じました。例えば化学全般をやりたいとか、具体的な方向性が決まっていなくても、まずは幅広く様々な基礎を学べる短大の2年間で、自分のやりたいことを見つけるという方法もありますよ。

教育理念・目的	P 1
卒業生からのメッセージ・沿革	P 2
建設学科	P 4
(建築エンジニアリングコース/建築デザインコース/福祉技術コース)	
基礎工学科	P 8
(機械工学コース/電気電子情報コース/教育数理工学コース)	
応用化学科	P14
(生命応用化学コース/物質応用化学コース)	
総合教育・基礎教育	P16
キャンパスライフ	P18
キャンパスマップ	P20
進路	P22
Q & A・キャンパスカレンダー	P24
オープンキャンパス	P25

沿革

1950 年 3 月	日本大学短期大学部 建設科(土木専攻、建築専攻)、工業技術科(機械専攻、電気専攻)、応用化学科を設置
1952 年 10 月	日本大学短期大学部を日本大学短期大学部と名称変更
1976 年 7 月	日本大学短期大学部を日本大学短期大学部(習志野校舎)と名称変更
1979 年 4 月	建設科、工業技術科にコース制を設ける 建設科(土木コース、建築コース) / 工業技術科(機械コース、電気コース)
1991 年 4 月	建設科を建設学科、工業技術科を工業技術学科と名称変更 工業技術学科に情報科学コースを新設
1995 年 4 月	工業技術学科(電気コース)を工業技術学科(電気電子コース)と名称変更
1996 年 4 月	日本大学短期大学部(習志野校舎)を日本大学短期大学部(船橋校舎)と名称変更
1998 年 4 月	建設学科(土木コース)を建設学科(土木・環境コース)と名称変更
1999 年 4 月	工業技術学科(情報科学コース)を工業技術学科(数理工学コース)と名称変更
2000 年 4 月	建設学科(土木・環境コース)の学生募集を停止 建設学科のコース制を廃止
2001 年 4 月	工業技術学科を基礎工学科と名称変更 機械コースと電気電子コースを統合し、工学基礎コースと名称変更
2002 年 4 月	建設学科に建築エンジニアリングコース、建築デザインコースを開設
2004 年 4 月	基礎工学科の工学基礎コースを機械工学コース、電気電子情報コースに分割
2006 年 4 月	建設学科に福祉技術環境コースを開設 基礎工学科(数理工学コース)を基礎工学科(教育数理工学コース)と名称変更 応用化学科に生命応用化学コース、物質応用化学コースを開設

※このガイドブックに登場する学生の学年は平成19年度時点のものです。